



2020年2月14日

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
(コード番号：7707 東証マザーズ)
問合せ先 取締役総務部長 田中 英樹
(TEL 047-303-4800 ttp://www.pss.co.jp/)

第2四半期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2019年8月14日に公表した2020年6月期第2四半期（累計）連結業績予想と本日公表の実績の間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異

2020年6月期第2四半期（累計） (2019年7月1日～2019年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,300	0	△25	△50	△1円90銭
実績値 (B)	2,031	△201	△202	△206	△8円11銭
増減額 (B - A)	△269	△201	△177	△156	
増減率 (%)	△11.6%	-%	-%	-%	
(参考) 前期第2四半期実績 2019年6月期第2四半期	2,042	△4	△19	△21	△0円91銭

2. 差異発生理由

「売上高について」

2020年6月期第2四半期（累計）につきましては、エリテック社向けOEM製品である全自動遺伝子診断装置の販売については順調に推移しましたが、期初より見込んでいた装置販売や受託製造売上が計上できずに出荷が下期にずれしたこと等により、全体として第2四半期の売上は2,031百万円（当初計画比11.6%減）となりました。

「利益について」

2020年6月期第2四半期（累計）につきましては、上記の売上実績による影響を受けたことと、研究開発費は短期間の製品応用開発費用もあり232百万円（前年同期比9.4%増）と増加しました。そして、試薬量産コストダウンの設備投資により減価償却費が増加したこと等も加わり販売費及び一般管理費は784百万円（前年同期比9.7%増）となりましたが、ほぼ計画通りの予算進捗となっています。これらの結果、営業損失は△201百万円（前年同期は営業損失は△4百万円）となりました。

以 上